

ミズバショウと スナの原生林

① 奥裾花自然園

Okususobana
Nature Park



5月には国内有数の規模を誇るミズバショウが花開き、スナ原生林は春の芽吹きから秋の紅葉まで変化に富んだ姿を見せられます。野鳥観察や森林散策を楽しみませんか。



全域マップ

開園情報

- 開園期間** 4月29日から10月31日(冬季休園)
※開園期間は変動することがあるのでホームページをご確認ください。
- 開園時間** 8:30~17:00
- 入園料** 大人(中学生以上)・・・<4/29~5/31>410円/人
・・・<6/1~>200円/人
※小学生以下無料、団体料金あり
- 散策時間** 駐車場(観光センター)から2~4時間がめやすです。
- 食堂** 観光センター横に2店舗あり



アクセス

- 車** 長野駅から80分。旅の駅鬼無里から40分。白馬駅から80分。(駐車場あり)
- バス** 春期間は長野駅から奥裾花自然園まで直行バスが運行します。

太古は海の底 その証はここに

② 奥裾花溪谷

Okususobana Valley



裾花川源流の溪谷は、鬼無里が日本海につながる海の底だったことを示す地層の野外博物館。いろいろな地質現象を観察することができ、信州の大地の生い立ちを実感できる場です。秋の紅葉スポットとしても人気!

MAP E-1

太古の歴史

溪谷では砂や泥、礫などが堆積してできた、約300万年前の地層に実際に触れます。かつての海底を示す“千畳敷岩”をはじめ、巣穴の化石“サンドパイプ”、その後の隆起でできた浸食

地形(ケスタ地形やポットホール)、断層なども観察できます。絶滅したゾウ「ステゴドンゾウ」の化石も発見されています。大地の隆起が、この溪谷をつくったのです。



千畳敷岩

ポットホール

ケスタ地形

ノジュール(団塊)

サンドパイプ(砂管)

鏡肌(断面)